

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	674	事業名	赤碕地区公民館事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費		
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				② 誰でも参加できる居場所づくり・生きがいづくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,684	0	0	46	0	1,638	公民館使用料	
前年度予算額	1,950 (比較：△266)				前々年度決算額		2,238 (比較：△554)	
トータルコスト	8,685	一般職人件費		2,101 (0.3人)		会計年度職員人件費		4,900 (0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	赤碕地区内各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め合うような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図る。			
前年度からの改善点等	6年度に実施していたスポーツ大会（グラウンドゴルフ交流会・ソフトボール大会・卓球大会）に加えて、だれもが参加できるニュースポーツ（モルック・ポッチャなど）を実施する。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	①幅広い年齢層の方たちがともに交流できる居場所作りのための事業をすすめる。 ②地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに住民参加型の運営体制を検討していく。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人	222	単町	
公民館活動にかかる経費	公民館活動における社会体育活動や、高齢者・青少年・成人・女性学級等にかかる経費。スポーツ関連（グラウンド・ゴルフ交流会、盆ソフトボール大会、運動会、卓球大会）、文化事業（公民館祭）、高齢者事業（わくわく元気スタジオ、スマホ相談会）、子ども事業（機織り、星を見る会）、物づくり（フラワーアレンジメント、寄せ植え教室）等を実施する。 ・報償費 158千円 ・消耗品費 398千円 ・借上げ料 16千円	572	単町	
公民館管理にかかる経費	公民館の維持管理に関わる経費 ・燃料費 44千円 ・火災保険料 23千円 ・テレビ受信料 12千円 ・消防設備保守委託料 54千円 ・医薬材料費 2千円 ・使用料 27千円 ・光熱水費 522千円 ・通信運搬費 119千円 ・消耗品 80千円 ・手数料 7千円	890	単町	
合計		1,684		
その他事業内容	公民館事業（夏の星の観望会・わくわく元気スタジオ）  			

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	675	事業名	安田地区公民館事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費		項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のま ちづくり				⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業							

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,133	0	0	330	0	1,803	公民館使用料 40 普通財産使用料 50 小学校体育館使用料 240	
前年度予算額	170,453 (比較: △168,320)				前々年度決算額		1,039 (比較: 1,094)	
トータルコスト	14,841	一般職人件費		2,101 (0.3人)			会計年度職員人件費	10,607 (3人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき、安田地区公民館を設置し、公民館運営に関する審議及び適正な維持管理を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	本年度も継続して、安田地区公民館の運営に関する審議及び利用者が快適かつ、安全に使用できるよう維持管理を行う。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営の審議に要する経費 【報酬】 222,000円 ・ 公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人＝222,000円	222	単町	
公民館管理にかかる経費	公民館施設管理による消耗品費、光熱水費・通信運搬費等 ・ 光熱水費 1,350千円 ・ 通信運搬費 62千円 ・ 手数料(味噌発酵機点検) 4千円 ・ 火災保険料 89千円 ・ 消防設備保守点検委託料 177千円 ・ 電気工作物保安管理委託料 188千円 ・ 下水道使用料 29千円 ・ N H K受信料 12千円	1,911	単町	
合計		2,133		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	676	事業名	成美地区公民館事業			事業区分	□新規 ■継続
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係		
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				① 子どもの成長に寄り添い、まちの特色を活かした教育の推進		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,262	0	0	80	0	2,182	公民館使用料	
前年度予算額	2,084 (比較：178)				前々年度決算額	1,419 (比較：843)		
トータルコスト	12,465	一般職人件費		2,101 (0.3人)		会計年度職員人件費		8,102 (3人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	成美地区内各自治体と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め合うような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決を図る。			
前年度からの改善点等	事業を見直しスクラップ＆ビルドを進める。区長会・公民館運営協議会と連携をとり、地域課題解決に向けて老若男女参加できる事業を企画運営する。 こども園との複合施設に移転することを考え乳幼児教室をさらに充実させる。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	①引き続き、成美地区にとって必要な取り組みを企画し実践していくことが必要。 ②助けあいのできる地域を目指して、組織などの運営体制を検討する。 ③地域の課題解決のために、いまここ食堂や立子谷プロジェクトなど、他団体との連携を図る。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人	222	単町	
公民館管理にかかる経費	公民館の維持管理にかかる光熱水費や建物の保守点検整備等をおこなう。 ・燃料費 43千円 ・火災保険料 136千円 ・テレビ受信料 12千円 ・消防設備保守委託料 61千円 ・医薬材料費 2千円 ・使用料 29千円 ・光熱水費 1,047千円 ・通信運搬費 96千円 ・消耗品 187千円	1,613	単町	令和7年度より施設移転にかかる経費が加わる。
公民館活動にかかる経費	公民館活動(運動会・いまここ教室・乳幼児学級・ポッチャ大会、公民館祭、乳幼児教室等)にかかる経費 ・報償金 80千円 ・消耗品費 320千円 ・印刷製本費 17千円 ・借上料 10千円	427	単町	
合計		2,262		
その他事業内容	公民館事業 (いまここ乳幼児教室、防災講座の実施)  			

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	677	事業名	以西地区公民館事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費		
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のま ちづくり				⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,898	0	0	1,394	0	1,504	公民館使用料 40 旧以西小学校体育館使用料 9 諸収入（自販機電気代）21 その他使用料 180 農業研修生宿泊施設使用料 1,144	
前年度予算額	2,664（比較：234）				前々年度決算額		769（比較：2,129）	
トータルコスト	13,346	一般職人件費		2,101（0.3人）			会計年度職員人件費	8,347（3人）

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき以西地区公民館を設置し、適正な管理・運営を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	引き続き、安心安全に住民活動ができるよう、適切な施設管理を行う。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営の審議に要する経費 22,200円×10人=222,000円	222	単町	
公民館運営管理にかかる経費	公民館と旧以西小学校に維持管理にかかる経費。 ・報償金(除雪作業) 24千円 ・消耗品費 10千円 ・燃料費 36千円 ・光熱水費 1,681千円 ・通信運搬費 121千円 ・手数料(味噌発酵機点検) 18千円 ・火災保険料 51千円 ・消防設備保守点検委託料 273千円 ・電気工作物保安管理委託料231千円 ・下水道使用料 219千円 ・NHK受信料 12千円	2,676	単町	
合計		2,898		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	678	事業名	八橋地区公民館事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費		
まちづくり ビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				③ 町民主役の地域づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,359	0	0	19	0	2,340	公民館使用料	
前年度予算額	3,178 (比較：△819)				前々年度決算額		1,431 (比較：928)	
トータルコスト	9,452	一般職人件費		2,101 (0.3人)		会計年度職員人件費		4,992 (2人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	八橋地区内各自治会と連携した地域密着型教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図る。			
前年度からの 改善点等	事業の内容・日程を見直す。スポーツ大会の卓球大会では年齢関係なく参加しやすい方法を検討する。			
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	引き続き、地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討する。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営 協議会委員 報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10名	222	単町	
公民館活動 にかかる経 費	各種事業（教養講座・スポーツ大会等）による経費。主な事業、公民館まつり、八橋ぶらりウォーキング、スポーツ大会（グラウンド・ゴルフ大会、ソフトバレーボール大会、卓球大会）、八橋キッズ（海で遊ぼう磯遊び、ケーキづくり）等。 ・報償金 100千円 ・消耗品費 338千円 ・借上料 10千円	448	単町	
公民館管理 にかかる経 費	公民館施設管理による消耗品費、光熱水費、通信運搬費等 ・燃料費 27千円 ・火災保険料 78千円 ・テレビ受信料 12千円 ・消防設備保守委託料 62千円 ・医薬材料費 2千円 ・使用料 27千円 ・光熱水費 761千円 ・通信運搬費 143千円 ・消耗品 150千円	1,262	単町	
施設内修繕	施設の修繕工事にかかる経費。 給湯器設置工事 330千円 手すり取付工事 97千円	427	単町	修繕箇所が発生したため。
合計		2,359		
その他事業内容	公民館事業（第4回海で遊ぼう！磯遊び、第48回八橋地区公民館まつり）  			

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	679	事業名	浦安地区公民館事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費		
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				③ 町民主役の地域づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	8,253	0	0	3,163	0	5,090	公民館使用料 137 公民館使用料【社協使用分】 3,026	
前年度予算額	8,182 (比較：71)				前々年度決算額		6,110 (比較：2,143)	
トータルコスト	15,284	一般職人件費		2,101 (0.3人)		会計年度職員人件費		4,930 (2人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	地区内各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め合う様な環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図る。			
前年度からの改善点等	高齢者の居場所づくりを行うと共に、地域の防災・防犯意識を高め、地域活動への参加意識を醸成し、地域との連携を深め、安全・安心な地域づくりを目指す。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	引き続き、地域住民のニーズや地域課題に応じた事業を企画するとともに、住民参加型の運営体制を検討する。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人	222	単町	
公民館活動にかかる経費	各種事業（教養講座、各種スポーツ大会等）にかかる経費。 主な事業、公民館まつり、スポーツ大会（グラウンド・ゴルフ大会、ソフトバレーボール大会、ニュースポーツ大会）、健康麻雀教室、スマホ相談会等。 ・報償金 76千円 ・消耗品費 355千円 ・借上料 21千円	452	単町	
公民館管理にかかる経費	公民館の維持運営にかかる光熱水費や建物の保守点検整備等をおこなう。 ・燃料費 62千円 ・火災保険料 185千円 ・テレビ受信料 12千円 ・消防設備保守委託料 138千円 ・電気工作物保安管理業務委託料 220千円 ・昇降機管理委託料 779千円 ・清掃委託料 36千円 ・医薬材料費 2千円 ・使用料 360千円 ・光熱水費 5,256千円 ・通信運搬費 155千円 ・消耗品費 330千円 ・手数料 14千円	7,549	単町	
浦安地区公民館駐車場負担金	浦安地区公民館駐車場負担金 30,000円	30	単町	
合計		8,253		
その他事業内容	公民館事業（浦安地区公民館まつり、浦安地区総合スポーツ大会）  			

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	680	事業名	下郷地区公民館事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費		項	4 社会教育費	目	2 公民館費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のま ちづくり					⑤ 大人に対する学びの環境づくり		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,273	0	0	14	0	1,259	公民館使用料	
前年度予算額	2,217 (比較：△944)				前々年度決算額	1,152 (比較：121)		
トータルコスト	8,366	一般職人件費		2,101 (0.3人)		会計年度職員人件費		4,992 (2人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	下郷地区内各自治会と連携した地域密着型の教育・学習事業を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高めあうような環境を醸成しつつ、住民の教養の向上、生活文化の振興、地域課題の解決等を図る。			
前年度からの改善点等	各行事の開催日程を検討し、参加者増加を図り、地域住民の交流に繋げる。 公民館まつり等、老若男女参加できる企画を早めに検討し来館者増加を図る。 公民館事業のスクラップ＆ビルドを進め、地域課題解決に向けて検討していく。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	公民館事業の2大イベント町民運動会、公民館まつりに全部落が協力的であり、今後も住民同士の繋がりを進めていく。 幼児から高齢者までの幅広い年代が参加できるような事業を検討していく。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人	222	単町	
公民館活動にかかる経費	公民館事業に係る経費。主な事業、町民運動会、公民館まつり、教養講座、健康マージャン、女性教室、まちの保健室、せいごうキッズ等。 ・報償金 114千円 ・消耗品 265千円 ・借上料 25千円	404	単町	
公民館管理にかかる経費	公民館を維持管理する上で必要な経費 ・燃料費 20千円 ・火災保険料 54千円 ・テレビ受信料 12千円 ・消防設備保守委託料 18千円 ・医薬材料費 2千円 ・使用料 32千円 ・光熱水費 296千円 ・通信運搬費 90千円 ・消耗品 123千円	647	単町	
合計		1,273		
その他事業内容	公民館事業（下郷地区町民運動会、下同地区まちの保健室特別コース）  			

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	681	事業名	上郷地区公民館事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費		
まちづくりビジョン	(1) 新しいひとの流れをつくりだす共生のまちづくり				③ 町民主役の地域づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,706	0	185	20	0	1,501	公民館使用料	
前年度予算額	1,637（比較：69）				前々年度決算額		955（比較：751）	
トータルコスト	11,919	一般職人件費		2,101（0.3人）			会計年度職員人件費	8,112（3人）

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	上郷地区公民館各種教育事業展開を通じて、地域住民が自ら実生活に即した文化的教養を高め得るような環境を醸成しつつ、住民の教養向上・生活文化の振興等、地域課題の解決を図る。			
前年度からの改善点等	上郷・倉坂たすけあい交通の本格的運行を支援する。 上郷公民館広場に、地元住民と協力して芝生を移植し地域の交流の場を作る。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	地域課題や住民のニーズに応じた事業展開に努める。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営協議会委員報酬	公民館運営協議会委員報酬 ・報酬 22,200円×10人	222	単町	
公民館活動にかかる経費	各種教室・スポーツ大会等に係る経費。主な事業、健康サロン、住民レクリエーション交流会、公民館まつり、教養講座、女性教室、せいごうキッズ等。 ・報償金 108千円 ・消耗品費 160千円(活動) ・借上料 10千円	278	単町	
上郷ふれあい広場緑化事業 【新規】	東伯総合公園サッカー場の芝を、上郷地区公民館広場に移送し、住民の交流の場を作り地区住民の活性化を図る。 ・委託料 370千円	370	県1/2、町1/2	上郷地区公民館の広場を芝生化にする。
公民館管理にかかる経費	公民館施設管理に係る経費 ・消耗品費 142千円 ・燃料費 17千円 ・光熱水費 400千円 ・医薬材料費 2千円 ・通信運搬費 132千円 ・手数料 23千円(モップ交換) ・火災保険料 31千円 ・消防施設保守委託料 50千円 ・使用料 27千円(公共下水使用料) ・テレビ受信料 12千円	836	単町	
合計		1,706		
その他事業内容	公民館事業(上郷地区公民館まつり、レクリエーション交流会)  			

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	682	事業名	古布庄地区公民館事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	2 公民館費		
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のま ちづくり				⑤ 大人に対する学びの環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,575	0	0	5	0	1,570	公民館使用料	
前年度予算額	1,127（比較：448）				前々年度決算額		654（比較：921）	
トータルコスト	13,306	一般職人件費		2,101（0.3人）			会計年度職員人件費	9,630（3人）

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	社会教育法並びに琴浦町公民館条例の規定に基づき古布庄地区公民館を設置し、適正な管理・運営を行う。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	安心・安全に住民活動ができるよう、適切な施設管理を行う。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
公民館運営 協議会委員 報酬	古布庄地区公民館運営協議会委員報酬公民館運営の審議に要する経費 【報酬】 222,000円 ・公民館運営協議会委員報酬 22,200円×10人=222,000円	222	単町	
公民館管理 にかかる経 費	公民館の維持運営にかかる光熱水費や建物の保守点検整備等を行う。 ・消耗品費 13千円 ・燃料費 28千円 ・光熱水費 544千円 ・通信運搬費 179千円 ・手数料(トイレ配管洗浄・浄化槽・鍵保管) 194千円 ・火災保険料 83千円 ・浄化槽維持管理委託料 40千円 ・消防設備保守点検委託料 88千円 ・下水道使用料 29千円 ・NHK受信料 12千円	1,210	単町	
不要木伐採 にかかる経 費 【新規】	立木伐採委託料(2本) 143千円	143	単町	地元住民からの要望により敷地内の立木の伐採が必要となったため。
合計		1,575		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	321	事業名	町内文化財保護事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係			
予算区分	款	9 教育費		項	4 社会教育費	目	3 文化財保護費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のま ちづくり					⑥ 歴史文化資源の活用と継承		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	4,648	56	0	0	0	4,592		
前年度予算額	3,623 (比較：1,025)				前々年度決算額	3,852 (比較：796)		
トータルコスト	10,252	一般職人件費		5,604 (0.8人)		会計年度職員人件費		(0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内文化財を後世に継承するため、文化財の適切な保存管理を行うとともに、文化財の調査や公開、活用を行い、優れた郷土の歴史や文化を理解することで町民の郷土愛の醸成に資するほか、町外に本町の魅力を発信する。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	〇人口減、高齢化等により、一部の地域で、これまで地域で取り組まれてきた文化財の保護活動に課題が生じてきています。今後の支援のあり方（拡充）など検討したい。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
町文化財保護審議会	町内文化財に関する会議を開催する。 委員10名（定員）×3回×2千円	60	単町	
町内文化財指導巡視員	毎月1回定期的に町内文化財の巡視を行う。 国・県指定2名×3回×4,600円、町指定2名×12回×4,600円。	138	単町	
伯耆の大シイ樹勢診断	伯耆の大シイ樹勢診断	25	単町	
指定文化財管理料	指定文化財の清掃等、地区や団体、所有者等による環境保全にかかる経費。 国指定：2件 県指定：13件 町指定：32件 未指定（移築古墳）：1件 手数料・委託料 435千円	435	単町	
指定文化財管理	町内にある指定文化財管理のため草刈り、除草等を実施する。 史跡等8件	1,401	町 1345 国 56	
無形民俗文化財補助金	三本杉盆踊り保存会、逢東盆踊り保存会、以西おどり保存会の保存伝承活動を支援する。 3団体×20千円	60	単町	
文化財保存保護・活用事業補助金（河本家住宅公開活用事業）	河本家住宅の公開活用活動を支援する。 補助対象事業費1,000千円（1/2補助）	500	単町	
文化財保存保護・活用事業補助金（倉阪神社修理事業） 【新規】	倉阪神社修理工事補助金 事業費1,738千円（1/2補助）	869	単町	
特別史跡斎尾廃寺出土遺物調査	特別史跡斎尾廃寺跡総括報告書の発刊にむけて奈良国立博物館、京都国立博物館が所蔵する斎尾廃寺跡出土遺物の実測図作成、写真撮影を行うほか、町所蔵の未報告遺物の調査、記録作業を行う。 旅費 274千円 報償金 564千円	838	単町	総括報告書刊行後、調査成果を公開（令和9年度予定）するための準備等も併せて実施。
その他事務経費	全国史跡整備市町村分担金等	322	単町	
合計		4,648		
その他事業内容				

斎尾廃寺跡再調査・整備スケジュール

	R3～ 7	R8	R9	R10	R11	R12 ～	備考
再調査	—						昭和末～平成初に実施した調査の再調査。国の補助事業で実施しているため、事業費により期間延長もあり得る。
総括報告書		—					
整備にかかる調査			—	—			発掘調査の成果が少ないことから、期間延長もあり得る。
整備計画			—	—	—		
整備（設計・工事）						—	

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	322	事業名	文化財活用啓発事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係			
予算区分	款	9 教育費		項	4 社会教育費	目	3 文化財保護費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のま ちづくり					⑥ 歴史文化資源の活用と継承		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	72	0	0	0	0	72		
前年度予算額	0				前々年度決算額		131 (比較：△59)	
トータルコスト	772	一般職人件費		700 (0.1人)		会計年度職員人件費		(0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	郷土の歴史、民俗等に関する資料の収集保管を行い、町施設での展示や学校の体験学習に活用し、町民が地域の歴史文化に触れられる機会を提供する。			
前年度からの改善点等	これまでに整理、修復をした民俗資料の見学、体験会など公開活用事業を実施する。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	〇収蔵資料の調査を行い、文化財的価値付けが困難な資料などの整理を進めます。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
民俗資料除籍費用	所蔵資料の調書を基にこれまで民俗資料として収集した資料について、民俗資料として価値付けができないもの、破損の著しいものの除籍など再整理を行う。併せて修復が可能なものは修復し、公開活用事業に資する。 除籍資料処分委託料 62千円 消耗品 10千円	72	単町	休止した資料整理、除籍作業を再開する。
合計		72		
その他事業内容	整理作業未実施資料  整理作業実施後 			

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	323	事業名	民俗資料館管理			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	3 文化財保護費		
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑥ 歴史文化資源の活用と継承			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	159	0	0	0	0	159		
前年度予算額	136 (比較：23)				前々年度決算額	289 (比較：△130)		
トータルコスト	859	一般職人件費		700 (0.1人)		会計年度職員人件費		(0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	郷土の歴史、民俗等に関する資料の収集保管を行い、町施設での展示や学校の体験学習に活用し、町民が地域の歴史文化に触れられる機会を提供する。			
前年度からの 改善点等	引き続き町民が地域の歴史文化に触れられるよう、展示資料、体験用資料を充実させる。			
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	〇小学生の学習「昔の道具とくらし」に合わせた資料展示のあり方、内容等の検討をする。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
民俗資料館 展示	歴史民俗資料館の利用促進のため、展示方法の改善・充実を図る。 消耗品 20千円	20	単町	
鳥取県ミュー ジウムネ ットワーク 負担金	県内博物館等と協力・連携を図る。 負担金 2千円	2	単町	
町内文化財 の解説シー ト等作成	グラフィックデザイン編集ソフトを使用し、文化財の解説シー トの作成など情報発信を行う。 ソフト使用料 137千円	137	単町	
合計		159		
その他事業内容	小学校見学			
				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	324	事業名	町内遺跡発掘調査事業			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	学芸文化係			
予算区分	款	9 教育費		項	4 社会教育費	目	4 埋蔵文化財発掘調査費	
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				⑥ 歴史文化資源の活用と継承			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,030	1,000	500	0	0	530		
前年度予算額	2,431 (比較：△401)				前々年度決算額		2,619 (比較：△589)	
トータルコスト	5,532	一般職人件費		3,502 (0.5人)		会計年度職員人件費		(0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内埋蔵文化財の保存と活用を図る。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	○特別史跡斎尾廃寺跡について、町内外へ更なる情報発信、普及啓発のため、発掘作業を随時公開し、ホームページ等で進捗状況を適時発信する。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
国特別史跡 斎尾廃寺跡 発掘調査事業	史跡現況の確認と今後の史跡整備に向けた情報収集のため、斎尾廃寺跡の発掘調査を実施する。 報償金 203千円 需用費 178千円 作業員派遣委託料 1,414千円 自然科学分析委託料 88千円 借上料 147千円	2,030	国1,000 県500 町530 (補助対象経費2,000)	
合計		2,030		
その他事業内容	史跡現況の確認と今後の史跡整備に向けた情報収集のため、斎尾廃寺跡の発掘調査を実施する。			

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	325	事業名	生涯学習センター管理費			事業区分	□新規 ■継続
担当課	社会教育課			担当係	生涯学習センター管理室		
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	5 生涯学習センター運営費	
まちづくり ビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				② 誰でも参加できる居場所づくり・生きがいづくり		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	43,415	0	0	3,796	0	39,619	生涯学習センター利用料 1,200 駅南駐車場使用料 316 コピー代等 180 ふるさと未来夢基金繰入金 2100	
前年度予算額	445,116（比較：△401,701）				前々年度決算額		54,738（比較：△11,323）	
トータルコスト	53,420	一般職人件費		7,005（1人）			会計年度職員人件費	3,000（1人）

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	子どもから高齢者まですべての町民の生涯にわたる学びと交流の場となるよう、生涯学習センターの管理運営を適切に行う。 また、図書館前の談話コーナーを子育て支援の場としてリニューアルし、図書館利用を促進すると共に、子育て世代と他世代交流の場として地域の活性化を図る。			
前年度からの改善点等	安心安全に施設を利用できるように、経年劣化により老朽化の進んでいた施設設備の更新を行った。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	○安心・安全な公共施設の場を提供するために、老朽化の進んだ設備等については、計画的に修繕していく取り組みを検討する。 ○現在のレイアウトを活かしながら、利用者のニーズに対応した施設となるよう環境整備を検討する。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
生涯学習センター管理費 【改善】	安心安全で快適な社会教育の場を提供するため、生涯学習センターの維持管理を行う。 ・管理費 35,875千円 ・防犯灯整備 2,002千円 ・和室畳表替え 370千円 ・避難用はしご修繕 351千円 ・備品購入費 832千円	39,430	単町	老朽化した施設を適正に管理し来館者の安全を守るため、施設修繕を行う。
談話コーナー整備事業 【新規】	生涯学習センター2階の談話コーナーを子育て世代も利用できるように整備し、雨天の遊び場を確保すると共に、既存の談話コーナー利用者と子育て世代の交流の場とし、地域の活性化を図る。 ・手数料 167千円 ・備品購入費 2,119千円	2,286	単町	OR6政策立案コンテスト成果
職場環境改善事業 【新規】	来館者の接遇改善、プライバシー確保、及び職場環境改善のため、3階執務室の配置替えを行う。 ・工事請負費 906千円 ・備品購入費 603千円 ・役務費 190千円	1,699	単町	OR6政策立案コンテスト成果
合計		43,415		
その他事業内容	全ての町民の生涯にわたる学びと交流の場となるよう、生涯学習センターの管理運営を適切に実施する。			

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	329	事業名	図書館活動費			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	琴浦町図書館			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	6 図書館費		
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり				② 子どもたちが安心して遊び、学べる環境づくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	18,814	0	0	8	0	18,806	図書館コピー代等	
前年度予算額	19,447 (比較：△633)				前々年度決算額	19,707 (比較：△893)		
トータルコスト	65,207	一般職人件費		28,020 (4人)		会計年度職員人件費		18,373 (6人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	図書資料の充実を図り、知の拠点として町民の「調べたい」「学びたい」を支えるとともに、町民の居場所、課題解決や生涯学習の場を提供する。また、小・中学校、こども園、公民館などと連携し、本に親しむ機会の提供や読書活動の推進を図る。			
前年度からの改善点等	利用者により利用しやすい環境づくりを進める。			
前年度評価で整理した取り組みの内容	○引き続き、書架整理と環境整備を進め、利用者のニーズに合わせて書架の拡張や内容の充実を図る。 ○第3次琴浦町子ども読書活動推進計画をもとに、子どもが読書を楽しむきっかけをつくり、進んで読書活動を行うことができる環境整備に努める。 ○読書に障がいのある方が利用しやすい形式で本の内容にアクセスできるよう取り組む。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
図書館システムの運用	図書館システム(京セラ ELCIELO)のリース料及び保守委託料 ・リース料 6,075千円 ・保守委託料 1,756千円	7,831	単町	
図書館ICタグシステムの運用	図書館ICタグシステムの保守委託料及びICタグ購入用消耗品費 ・保守委託料 2,318千円 ・消耗品費 (ICタグ) 132千円	2,450	単町	
図書館資料の整備、提供事業	住民ニーズに合わせた図書を整備するとともに、所蔵資料、郷土資料等を適正に分類・管理し提供する。 ・図書、AV資料等購入費 5,400千円 ・新聞、雑誌購入費 1,125千円 ・図書館装備用消耗品費 161千円 ・図書整備手数料 66千円 ・書誌データ使用手数料 440千円	7,192	単町	
人と本をつなげるきっかけづくり	こども園や小学校、高齢者施設等へ団体貸出を行い、本に触れ親しむ機会を提供する。 春秋の読書週間や夏休み等に合わせたイベントや講座を実施する。 ・ブックスタートの実施 358千円 ・各種イベント、講座の実施 49千円 ・音読会の推進 等	407	単町	
木のおもちゃのレンタル事業	木のおもちゃの消毒、破損等の補修等を行い、安心・安全に提供する。 ・メンテナンス手数料 304千円	304	単町	
障がい者サービス	活字による読書が困難な方を対象に「録音図書」の貸出を行う。 ・サビエ図書館利用手数料 40千円	40	単町	
図書館管理運営その他経費	図書館の管理運営に必要な経費 ・図書館協議会委員報酬 54千円 ・日本図書館協会等負担金 28千円 ・消耗品費 484千円 ・テレビ受信料 15千円 ・通信運搬費 9千円	590	単町	
合計		18,814		
その他事業内容	図書館が全町民の居場所、課題解決や生涯学習の場となるように管理、運営を行う。			



小学生図書館見学



読みメンおはなし会



読み聞かせボランティア研修会

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	311	事業名	文化振興事業	事業区分	□新規 ■継続
担当課	社会教育課	担当係	学芸文化係		
予算区分	款 9 教育費	項 4 社会教育費	目 7 文化芸術振興費		
まちづくり ビジョン	(2) 子どもも大人も「我がまち」を誇れる教育・文化のまちづくり ⑦ 文化・芸術活動の振興				
重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開				

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

事業費	事業費財源内訳					備考	
	国庫支出金	県支出金	その他(収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,580	0	200	315	0	2,065	チケット代金 15 ふるさと未来夢基金繰入金 300
前年度予算額	2,689 (比較：△109)			前々年度決算額		1,889 (比較：691)	
トータルコスト	5,382	一般職人件費		2,802 (0.4人)		会計年度職員人件費	
							(0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内の文化芸術団体等を支援するほか、連携により、文化芸術活動の活性化を図るとともに、県内文化芸術振興団体等とも連携することにより、町民が文化芸術に親しむ機会の充実を行い、町内文化振興を図る。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	○鳥取県文化振興財団と協定を結び、当財団によるアウトリーチ事業開催を進める。 コロナ後の活動促進に向け、文化芸術団体の更なる活動支援を行う。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
コトウラ芸術宅配便	町内教育機関と連携してのアウトリーチ公演（芸術宅配便）を開催、文化芸術鑑賞開始のきっかけづくりを展開。 報償金 60千円	60	単町	
文化祭開催費	文化活動の向上、活性化や担い手確保のため文化祭を開催します。 消耗品費 50千円 印刷製本費 61千円 展示パネル設置・撤去委託料 1,268千円	1,379	単町	
音楽の魅力 発見 事業 (鳥取県文化振興財団 連携 事業)	【目的】 鳥取県文化振興財団と連携し、町内における文化芸術鑑賞機会の充実を図る。 【内容】 事業内容＜年間2公演程度＞ ・親子で楽しめる公演 ・鳥取県にゆかりのあるアーティストによる公演 ※事業費600千円を財団と折半 消耗品費 50千円 印刷製本費 61千円	411	単町	
アートスタート事業補助金	【目的】 ・就学前児童への文化芸術の機会提供 ・豊かな感性と創造性の育成 【内容】 就学前児童を主対象とした文化芸術の機会提供の事業への補助。 アートスタート活動支援事業補助金 補助率10/10 (2件：200千円)	200	県補助金	
文化芸術振興補助金	【目的】 ・文化芸術団体の自主的な活動促進 ・町民への文化芸術機会の提供 【内容】 ・文化芸術団体が主催する鑑賞事業への補助。 補助率1/2 (2件：200千円)	400	単町	
合唱団活動支援事業補助金	【目的】 ・児童への文化芸術の機会提供 ・活動を通じた児童の成長を目的 【内容】 児童を中心とした合唱団の練習、発表活動、団拡充の取組への補助。 80千円×1団体	80	単町	

体験講座希望文化団体等補助金	新規文化活動者確保のため体験講座開催を支援します。 補助率10/10 文化活動団体5団体×上限10千円	50	単町	
合計		2,580		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	333	事業名	一般管理			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係			
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	1 保健体育総務費		
まちづくり ビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	199	0	0	0	0	199		
前年度予算額	139 (比較：60)				前々年度決算額		142 (比較：57)	
トータルコスト	899	一般職人件費		700 (0.1人)			会計年度職員人件費	(0.1人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	社会体育に関する一般的な管理運営を行う。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
一般管理	社会体育施設にかかる管理運営			
	消耗品費 79千円	199	単町	
	通信運搬費 120千円			
	合計	199		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	1483	事業名	スポーツ・運動推進事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係				
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	2	体育振興費
まちづくり ビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり					③ 地域で取り組む町民一人ひとりの健康づくりと介護予防			
	重点事業								

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	13,255	0	0	841	4,500	7,914	トレーニングルーム使用料 840 ウォーキング認定コース 使用料 1	過疎債 4500
前年度予算額	22,207 (比較：△8,952)				前々年度決算額		11,568 (比較：1,687)	
トータルコスト	16,057	一般職人件費		2,802 (0.4人)			会計年度職員人件費	(0.4人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	・スポーツ協会事業でスポーツに親しみ、町民の健康づくりにつなげる。 ・全国大会などで優秀な成績を収めた方を表彰し功績を讃え、今後の活力につなげる。 ・総合体育館トレーニングルームにコンディショニングコーディネーター及び町民トレーナー、フィットネストレーナーを配置し、若年層や働き盛り世代から高齢者にわたる広い世代の運動習慣の定着につなげる。 ・スポーツ推進委員との連携やウォーキングの推奨により町民の運動習慣の定着と介護予防及び健康寿命延伸に寄与する。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	○トレーニングルームや体幹教室を活用して働き盛り世代の健康作りを進める必要があります。令和5年度はスポーツ推進委員を中心として障がい者や健常者が一緒に運動できるポッチャを普及し、令和6年度に交流大会を開催できるように努める。			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
町スポーツ協会補助	町スポーツ協会活動費 補助金 2,500千円 負担金 551千円(郡体育協会)	3,051	単町	
スポーツ少年団補助	スポーツ少年団の活動 消耗品費 20千円 負担金 8千円(中部地区交流大会参加費) 補助金 1,065千円	1,093	単町	
トレーニングルーム運営及び教室開催	谷川コンディショニングコーディネーター及びフィットネストレーナー、町民トレーナーの指導体制の充実を図り、町民の運動習慣定着を推進する。 トレーニングルーム指導、体幹教室等各種教室の開催。 報奨金 803千円(町民トレーナー、フィットネストレーナー) 消耗品費 50千円 修繕費 100千円 委託料 489千円(機器保守点検) 委託料 5,217千円(コンディショニングコーディネーター)	6,659	単町	
スポーツ推進委員活動	スポーツ推進委員の活動 委員報酬 1,367千円 費用弁償 192千円(全国・中国大会旅費) 消耗品費 54千円(事業にかかる分) 消耗品費 12千円(全国・中国大会資料代) 保険料 58千円(傷害保険) 負担金 54千円(県・国協議会) 負担金 15千円(郡連絡協議会) 備品購入費 50千円(軽スポーツ用具)	1,802	単町	
スポーツ教室実行委員会への補助	スポーツ教室交流事業 補助金 270千円(スポーツ教室交流会実行委員会)	270	単町	
部活動の地域移行	部活動の地域移行 夏休み期間中の東伯・赤碓合同部活動に係るスクールバス臨時便に係る経費 1往復 5,000円 報償金 80千円(検討会委員) 委託料 120千円(スクールバス)	200	単町	
その他事業	スポーツ振興全般にかかるその他事業 報償金 100千円(国際大会) 消耗品費 15千円(ガイナールホームタウンデー)	180	単町	

	印刷製本費 負担金	4 4 千円 2 1 千円（ウオーキングステーション）			
		合計	13,255		
その他事業内容					

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	349	事業名	社会体育利用施設管理			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係				
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備				
	重点事業								

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	3,454	0	0	262	0	3,192	中学校体育館使用料 212 中学校屋外運動場夜間照 明使用料 50	
前年度予算額	3,519 (比較：△65)				前々年度決算額		2,454 (比較：1,000)	
トータルコスト	4,154	一般職人件費		700 (0.1人)			会計年度職員人件費	(0.5人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	武道館（東伯・赤碕）、各地区体育施設（古布庄・安田・以西）等の維持管理を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
社会体育施設の管理運営	武道館（東伯・赤碕）、各地区体育施設（古布庄・安田・以西）等の維持管理を行う。			
	委託料 8 6 8 千円（消防設備保守点検、体育館トイレ清掃）			
	消耗品費 2 4 0 千円			
	修繕料 3 0 0 千円			
	手数料 5 8 1 千円			
	火災保険料 1 5 2 千円			
	光熱水費 1, 0 4 5 千円			
	使用料 4 8 千円			
	原材料費 2 2 0 千円			
	合計	3,454	単町	
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	350	事業名	平岩記念会館管理運営			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係				
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費
まちづくり ビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備				
	重点事業								

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	1,515	0	0	102	0	1,413	平岩記念会館使用料 102	
前年度予算額	1,220（比較：295）				前々年度決算額		1,153（比較：362）	
トータルコスト	2,215	一般職人件費		700（0.1人）			会計年度職員人件費	（0.2人）

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	宿泊研修などに利用するための施設として管理運営を行う。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
平岩記念会 館の管理運 営	宿泊研修などに利用するための施設として管理運営を行う。			
	消耗品費	4 0 千円		
	修繕料	2 2 9 千円		
	火災保険料	1 3 0 千円		
	光熱水費	6 1 4 千円		
	手数料	6 3 千円		
	委託料	4 3 8 千円 (平岩記念会館清掃、消		
	防設備保守、浄化槽)			
	平岩教育福祉振興基金 利子積立金	1 千円		
合計		1,515		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	351	事業名	東伯総合公園管理事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係				
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費
まちづくり ビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備				
	重点事業								

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	23,078	0	0	1,356	0	21,722	総合公園施設使用料 1,220 社会体育諸収入 121 総合体育館シャワー使用 料 15	
前年度予算額	25,198 (比較：△2,120)				前々年度決算額		17,535 (比較：5,543)	
トータルコスト	27,281	一般職人件費		4,203 (0.6人)			会計年度職員人件費	(2.5人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場の提供として施設の整備・管理を行う。			
前年度からの改善点等				
前年度評価で整理した取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
東伯総合公園の管理運営	消耗品費	7 8 2 千円		
	燃料費	4 7 8 千円		
	委託料	9 5 2 千円 (総合公園清掃)		
		3, 8 0 3 千円 (総合公園管理)		
		3 0 7 千円 (電気設備保守)		
		5 5 千円 (防火設備定期点検)		
		3 4 0 千円 (浄化槽)		
		3 7 4 千円 (消防設備保守)		
		5 8 3 千円 (野球場整備)		
		7 0 7 千円 (PCB含有廃棄物処分)		
	手数料	1, 1 9 8 千円		
	修繕料	2, 9 2 5 千円		
	火災保険料	3 1 1 千円		
	光熱水費	5, 6 9 0 千円		
	通信運搬費	1 4 4 千円		
	使用料	1 0 6 千円 (下水道使用料)		
	自動車重量税	7 千円		
	賃借料	3 0 0 千円		
	工事請負費	3, 9 6 0 千円 (総合体育館トランス取替工事)		
	自動車保険料	4 4 千円		
	テレビ受信料	1 2 千円		
合計		23,078	単町	
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	417	事業名	農業者トレーニングセンター運営			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係			
予算区分	款	9 教育費	項	5 保健体育費	目	3 体育施設費		
まちづくり ビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備			
	重点事業							

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	2,733	0	0	142	0	2,591	トレーニングセンター使用料 142	
前年度予算額	3,120 (比較：△387)				前々年度決算額		1,895 (比較：838)	
トータルコスト	3,433	一般職人件費		700 (0.1人)			会計年度職員人件費	(0.3人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場の提供として施設の整備・管理を行う。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
農業者トレーニングセンターの管理運営	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場の提供として施設の整備・管理を行います。			
	修繕料	7 6 0 千円		
	委託料	1 9 2 千円 (消防設備点検)		
		2 4 7 千円 (清掃委託料)		
		3 3 千円 (特殊建物定期点検)		
		9 1 千円 (電気設備保守)		
	光熱水費	8 9 8 千円		
	使用料	9 6 千円 (下水道使用料)		
	通信運搬費	6 5 千円		
	自動車重量税	7 千円		
	手数料	2 1 9 千円		
	火災保険料	3 7 千円		
	自動車保険料	1 5 千円		
	テレビ受信料	1 2 千円		
	消耗品費	6 1 千円		
	合計	2,733	単町	
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	418	事業名	赤碕総合運動公園管理			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係				
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費
まちづくり ビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり					⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備			
	重点事業								

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	6,130	0	0	756	0	5,374	赤碕総合運動公園使用料 708 社会体育諸収入 48	
前年度予算額	6,551 (比較：△421)				前々年度決算額		6,157 (比較：△27)	
トータルコスト	6,830	一般職人件費		700 (0.1人)			会計年度職員人件費	(2人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内外の人の健康づくりの場として、またスポーツレクリエーション等の活動推進・憩いの場の提供として施設の整備・管理を行う。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	※事務費のため評価なし			
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
赤碕総合運動公園の管理運営	自動車保険料	1 5 千円	6,130 単町	
	委託料	1 7 2 千円 (赤碕運動公園清掃)		
		2 2 千円 (消防機器点検)		
		2 6 4 千円 (野球場スコアボード点検)		
		5 7 2 千円 (野球場内野部整備)		
		3 5 6 千円 (電気設備保守)		
		2 2 千円 (浄化槽維持管理)		
	光熱水費	3, 3 2 4 千円		
	通信運搬費	7 0 千円		
	手数料	3 0 千円		
	消耗品費	6 3 7 千円 (黒土混合土等)		
	テレビ受信料	1 2 千円		
	燃料費	1 4 4 千円		
	修繕料	4 0 0 千円		
	火災保険料	9 0 千円		
合計		6,130		
その他事業内容				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	1627	事業名	東伯総合公園改修事業			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	社会教育課			担当係	社会体育係				
予算区分	款	9	教育費	項	5	保健体育費	目	3	体育施設費
まちづくり ビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり					⑥ 誰もが利用したくなる運動拠点施設の整備			
	重点事業								

2 当該年度の事業費

(単位：千円)

	事業費	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
当初予算額	357,810	0	0	93,000	264,800	10	JFA日本サッカー協会助 成金 45,000 スポーツ振興くじ助成金 48,000	過疎債 264,800
前年度予算額	165,660 (比較：192,150)				前々年度決算額		6,160 (比較：351,650)	
トータルコスト	361,312	一般職人件費		3,502 (0.5人)		会計年度職員人件費		0 (0人)

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	東伯総合公園サッカー場を人工芝へ改修することにより、町民の年間を通じたスポーツ・レクリエーション活動の場を確保する。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容				
細事業等	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
東伯総合公園サッカー場芝剥ぎ取り 【新規】	サッカー場へ新たに人工芝を敷設するため、天然芝の剥ぎ取りを行う。 ・工事請負費 847千円	847	単町	
東伯総合公園サッカー場改修工事 【新規】	サッカー場天然芝を人工芝へ改修することで、通年利用を可能とするなど、町民の利便性の向上を図る。 ・工事請負費 356,963千円	356,963	JFA日本サッカー協会 助成金 45,000 スポーツ振興くじ助成金 48,000 町 263,963	
合計		357,810		
その他事業内容	○継続費の年割額			
	事業名	総額	年度	年割額
	東伯総合公園改修事業	519,970千円	令和6年度	162,160千円
			令和7年度	357,810千円

一人ひとりが尊重され、こころ豊につながるありあまちづくりの実現

人権施策基本方針（実施計画）に基づく教育・啓発

あらゆる人権課題の解消（解決）を図るための教育及び啓発を行う。

■人権施策基本方針（実施計画）に基づく分野別施策（17分野）の推進と検証。

- ・人権課題の解消（解決）を図る。
- ・差別事象が発生した場合、差別事象等対応マニュアルに基づき、差別事象検討委員会を開催し、正確な実態把握と、原因や背景の分析及び再発防止に向けた教育及び啓発を行う。

■ことうら人権まなびの集い

- ・人権作文（事例発表）、人権講演、人権啓発パネル展示等により、町民の人権意識の高揚を図る。

■各文化センターの運営（隣保館・児童館）

- ・相談業務（支援体制）の充実。
- ・あらゆる人権教育学習（「人権まなびの講座」）
- ・小中学校学習会で故郷の歴史を学び、人権尊重における町の担い手を育成する。

町民と町との協働による取り組み

町人権尊重の社会づくり条例に基づき、町民と町の協働による、人権尊重のまちづくりを行う。

■人権・同和教育推進協議会

- ・各部会（学校・園部会、行政部会、企業部会、社会教育部会、福祉部会）による人権教育・啓発活動。

■人権啓発事業

- ・様々な人権課題について、町民と町が協働して課題解決に向けて取り組みができるよう教育及び啓発を行う。

■人権・同和教育部落懇談会

- ・町民（各部落）と町が協働して、人権学習を行い、課題解決に向け共通認識をもち、誰もが安心・安全に暮らせる町づくりを目指す。

令和 7 年 度 人 権 ・ 同 和 教 育 課 主 要 事 業

1 ことうら人権まなびの集い (法務省委託) [261千円] 【継続】

一人ひとりの違いを認め合い、共に生きる社会の実現に向け、様々な人権について考えることを目的に開催する。

- 〈実践発表〉 小中学生の人権学習発表
- 〈啓発活動〉 人権啓発パネル展示、人権標語展示等
- 〈講演会〉 人権講演会

2 人権・同和教育部落懇談会 [352千円] 【継続】

地域における人権意識の高揚を図り、あらゆる差別の解消と人権尊重のまちづくりを町民と町が協働して推進する。

- ・実施方法：各部落単位で実施
- ・開催時期：10月～12月（事前説明会を9月から各地区ごとに実施）
- ・テーマ：「心のバイアス（先入観・偏見）を見直す」（案）

自分にとって「当たり前」の考えや言動が、時に相手を傷つけたり、差別につながることを知り、お互いを認め合う人間関係や地域づくりについて話し合う。

3 町人権・同和教育推進協議会による人権啓発事業 [450千円] 【継続】

あらゆる人権問題・課題の正しい理解と認識を広げ、町民及び関係者一人ひとりの参加による、人権が尊重され誰もが安全に安心して暮らせる住みよい琴浦町の実現を図る。

- ・県内外から有識者を招聘し、町民及び関係者を対象とした人権研修を行う。

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	68	事業名	社会福祉総務費			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	1 社会福祉総務費		
まちづくり ビジョン	(6) 町民の声が届き、ともに創る未来のまちづくり				⑥ 近隣自治体との行政サービス共同化の推進			
	重点事業	情報発信と対話で築く、みんなが関わる協働のまちづくり						

2 当該年度の事業費

年度	事業費 (千円)	事業費財源内訳					備考		
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳	
要求額	954	0	96	0	0	858			
一次査定額	954	0	0	0	0	954			
二次査定額	954	0	0	0	0	954			
三次査定額	954	0	96	0	0	858			
四次査定額	954	0	96	0	0	858			
五次査定額	954	0	96	0	0	858			
一般職人件費	1,401	前年度		一般職年間人件費		7,005	一般職	0.2	
会計年度職員人件費		前年度					会計年度職員		
トータルコスト	2,355								
前年度予算額	0	比較	954		前々年度決算額		0	比較	954

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町内の人権擁護、啓発、再発防止等に携わる人権擁護委員、保護司、更生保護女性会の活動助成を行う。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	関係団体が活動しやすい環境を整え、一人ひとりの人権が守られる社会の実現に向け、活動を推進する。			
細事業	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
人権の花運動 (人権啓 発活動地方 委託事業 法 務省委託)	小学校へ「人権の花」を贈呈 (5校) ・消耗品費 97千円 パンジー・ピオラ花苗	97	県10/10	
更生保護団 体の活動支 援	「社会を明るくする運動」をはじめ、更生保護事業を行う団体や保護司に対し助成を行う。 ・報償金 296千円 保護司報償金 296千円 (22,700円×13人) ・負担金 234千円 東伯地区保護司会負担金 136千円 更生保護女性会負担金 98千円	530	単町	
人権擁護委 員活動支援	「人権擁護委員の日」「人権週間」「特設人権相談所」など、町内で人権啓発を担う人権擁護委員に対する支援及び助成。 ・報償金 238千円 (34千円×7名) ・負担金 70千円 人権擁護委員協議会負担金 63千円 県人権擁護委員連合会負担金 7千円 ・消耗品費 19千円	327	単町	
合計		954		
事業の内容 (どうやって)				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	570	事業名	東伯隣保館運営費			事業区分	□新規 ■継続		
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係				
予算区分	款	3	民生費	項	1	社会福祉費	目	4	隣保館運営費
まちづくり ビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり					① 誰一人取り残さない地域内での福祉の充実			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開							

2 当該年度の事業費

年度	事業費 (千円)	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
要求額	4,220	0	2,375	27	0	1,818	文化センター利用料	
一次査定額	4,220	0	2,375	27	0	1,818		
二次査定額	4,220	0	2,375	27	0	1,818		
三次査定額	4,220	0	2,375	15	0	1,830		
四次査定額	4,220	0	2,375	15	0	1,830		
五次査定額	4,220	0	2,375	15	0	1,830		
一般職人件費	1,401	前年度		一般職年間人件費		7,005	一般職	0.2
会計年度職員人件費		前年度					会計年度職員	
トータルコスト	5,621							
前年度予算額	0	比較	4,220	前々年度決算額		0	比較	4,220

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	あらゆる人権課題の解消、地域福祉の向上、人権啓発のための住民交流の拠点・住民の身近な相談窓口としての役割を担い、人権尊重の社会づくりに資する。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	住民交流の拠点、地域福祉と人権啓発、共生のまちづくりに引き続き取組む。			
細事業	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
文化センター運営審議会	文化センター運営審議会を年2回開催し、年間計画や今後の取り組みを審議する。 委員12人（地域住民代表、学識経験者、関係団体代表、小中学校代表、こども園・保育園代表、行政職員代表） ・委員報酬 44千円（2千円×11人×2回）	44	国1/2 県1/4 町1/4	
各種隣保館事業	各種隣保館事業（人権まなびの講座、部落解放文化祭、小中学生学習会、学習支援事業、教室活動等） ・報償金 804千円 ・費用弁償 30千円 ・需用費 210千円（消耗品77千円、食糧費133千円） ・保険料 7千円 ・負担金 10千円（中3交流会）	1,061	国1/2 県1/4 町1/4	
東伯文化センター空調更新工事 【新規】	遊戯室、図書室、事務室のエアコンの更新。 隣保館負担分 工事請負費 1,034千円（児童館と按分）	1,034	単町	エアコンの更新を行い、文化センターの環境整備を行う。
施設整備 (修繕・備品購入) 【改善】	・修繕料 30千円 ・備品購入費 481千円 会議テーブル等	511	国1/2 県1/4 町1/4	・備品購入費 会議テーブル 470千円
その他事務費、施設の維持管理費等	施設の運営及び維持管理等に要する経費 費用弁償 74千円 需用費 884千円（消耗品費267千円、燃料費66千円、印刷製本費17千円、光熱水費534千円） 役務費 140千円（通信運搬費59千円、手数料23千円、保険料58千円） 委託料 65千円 使用料及び賃借料 337千円（使用料27千円、借上料310千円） 負担金 70千円（県隣保館連絡協議会）	1,570	国1/2 県1/4 町1/4	
合計		4,220		
事業の内容 (どうやって)				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	571	事業名	赤碕隣保館運営費			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目	4 隣保館運営費		
まちづくり ビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				① 誰一人取り残さない地域内での福祉の充実			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

年度	事業費 (千円)	事業費財源内訳					備考		
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳		町債の内訳
要求額	4,614	0	2,904	60	0	1,650	文化センター利用料		
一次査定額	4,614	0	2,904	60	0	1,650			
二次査定額	4,614	0	2,904	60	0	1,650			
三次査定額	4,588	0	2,904	60	0	1,624			
四次査定額	4,588	0	2,904	60	0	1,624			
五次査定額	4,588	0	2,904	60	0	1,624			
一般職人件費	1,401	前年度		一般職年間人件費		7,005	一般職	0.2	
会計年度職員人件費		前年度					会計年度職員		
トータルコスト	5,989								
前年度予算額	0	比較	4,588		前々年度決算額		0	比較	4,588

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	あらゆる人権課題の解消、地域福祉の向上、人権啓発のための住民交流の拠点・住民の身近な相談窓口としての役割を担い、人権尊重の社会づくりに資する。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	住民交流の拠点、地域福祉と人権啓発、共生のまちづくりに引き続き取組む。			
細事業	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
文化センター運営審議会	文化センター運営審議会を年2回開催し、年間計画や今後の取り組みを審議する。 委員12人（地域住民代表、学識経験者、関係団体代表、小中学校代表、こども園・保育園代表） ・委員報酬 48千円（2千円×12人×2回）	48	国1/2 県1/4 町1/4	
各種隣保館事業	各種隣保館事業（まなびの講座、部落解放文化祭、小中学生解放学習会、学習支援事業、地域交流事業等） ・報償費 722千円 ・需用費 126千円（消耗品費 66千円、食糧費 60千円） ・負担金 10千円（中3交流会）	932	国1/2 県1/4 町1/4	
施設費整備 (修繕) 【改善】	・修繕料 1,336千円 区分開閉器高圧ケーブル交換（児童館と按分） 他	1,336	国1/2 県1/4 町1/4	区分開閉器高圧ケーブル交換 1,306千円
その他事務費、施設の維持管理費	施設の運営及び維持管理等に要する経費 報償費 20千円 費用弁償 74千円 需用費 1,300千円（消耗品費279千円、燃料費97千円、光熱水費924千円） 役務費 101千円（通信運搬費47千円、保険料54千円） 委託料 242千円 使用料及び賃借料 455千円（使用料30千円、借上料425千円） 負担金 70千円（県隣保館連絡協議会） 備品購入費 84千円	2,346	国1/2 県1/4 町1/4	
合計		4,662		
事業の内容 (どうやって)				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	566	事業名	東伯児童館運営費			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	3 児童館運営費		
まちづくり ビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				① 誰一人取り残さない地域内での福祉の充実			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

年度	事業費 (千円)	事業費財源内訳					備考		
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳		町債の内訳
要求額	8,500	3,742	0	5	0	4,753	児童館活動参加費		
一次査定額	13,362	0	9,190	5	0	4,167			
二次査定額	8,500	3,742	0	5	0	4,753			
三次査定額	8,490	3,742	0	5	0	4,743			
四次査定額	8,490	3,742	0	5	0	4,743			
五次査定額	8,490	3,742	0	5	0	4,743			
一般職人件費	1,401	前年度		一般職年間人件費		7,005	一般職	0.2	
会計年度職員人件費		前年度					会計年度職員		
トータルコスト	9,891								
前年度予算額	0	比較	8,490	前々年度決算額		0	比較	8,490	

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	児童が心身ともに健やかに成長するために安心、安全な居場所づくりや遊びの提供を行う。 親子のふれあいや地域住民との関わりの中での、子ども達の自尊感情の育成と豊かな人間形成を行う。 活動をとおして、自ら考え行動できる子どもの育成や仲間づくりができるよう保護者を支援する。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	・相談業務の他機関との連携強化 ・子どもと保護者が一緒に活動する機会を提供することで、子どもの成長を支援する。 ・同じ活動を時間帯を変更して複数回開催する等の工夫を行い行事に参加しやすくする。			
細事業	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
各種児童館活動	年間を通したお話し会や工作教室、じどうかんまつり等を開催し、子どもや保護者のつながりを深め子どもの成長を支える。 ・報償費 36千円(指導者金) ・需用費 155千円(消耗品 93千円、食糧費 62千円)	191	単町	
東伯文化センター空調更新工事 【新規】	児童館部分(遊戯室、図書室)と共有部分(事務室)のエアコンの更新 ・工事請負費 7,486千円(隣保館と按分)	7,486	国1/2 町1/2	エアコンを更新し、子どもの遊びの環境整備を行う。
環境整備(修繕) 【改善】	児童館を整備し、遊びや活動しやすい環境づくりを行う。 ・修繕料 すべり台塗装 87千円 カーテン取替 99千円 ガラス修繕等 20千円	206	単町	・修繕料 滑り台塗装 87千円 カーテン取替 99千円
その他事務費、施設の維持管理費	施設の運営及び維持管理等に要する経費 報奨金 28千円 需用費 375千円(消耗品費90千円、燃料費35千円、光熱水費242千円、医薬材料費8千円) 役務費 43千円(通信運搬費24千円、手数料6千円、保険料13千円) 使用料及び賃借料118千円(下水道使用料12千円、印刷機リース106千円) 備品購入費 33千円 負担金 10千円(県児童館連絡協議会)	607	単町	
合計		8,490		
事業の内容 (どうやって)				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	567	事業名	赤碕児童館運営費			事業区分	□新規 ■継続
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係		
予算区分	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目	3 児童館運営費	
まちづくり ビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				① 誰一人取り残さない地域内での福祉の充実		
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開					

2 当該年度の事業費

年度	事業費 (千円)	事業費財源内訳					備考		
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳		町債の内訳
要求額	1,559	0	0	15	0	1,544	児童館活動参加費		
一次査定額	1,559	0	0	15	0	1,544			
二次査定額	1,559	0	0	15	0	1,544			
三次査定額	1,559	0	0	15	0	1,544			
四次査定額	1,559	0	0	15	0	1,544			
五次査定額	1,559	0	0	15	0	1,544			
一般職人件費	1,401	前年度		一般職年間人件費		7,005	一般職	0.2	
会計年度職員人件費		前年度					会計年度職員		
トータルコスト	2,960								
前年度予算額	0	比較	1,559		前々年度決算額		0	比較	1,559

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	児童が心身ともに健やかに成長するために安心、安全な居場所づくりや遊びの提供を行う。 親子のふれあいや地域住民との関わりの中での、子ども達の自尊感情の育成と豊かな人間形成を行う。 活動をとおして、自ら考え行動できる子どもの育成や仲間づくりができるよう保護者を支援する。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	・相談業務の他機関との連携強化 ・子どもと保護者が一緒に活動する機会を提供することで、子どもの成長を支援する。			
細事業	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
各種児童館 活動	年間を通したお話し会や工作教室、じどうかんまつりを開催し、子どもや保護者のつながりを深め子どもの成長を支える。 ・報償費(指導謝金) 12千円 ・消耗品費 40千円 ・食糧費 87千円	139	単町	
環境整備 【改善】	修繕料 区分開閉器高圧ケーブル取替 587千円(隣保館と按分) ガラス修繕等 20千円	607	単町	区分開閉器高圧ケーブル取替 587千円
その他事務 費、施設の 維持管理費	施設の運営及び維持管理等に要する経費 需用費 537千円(消耗品費90千円、燃料費33千円、光熱水費407千円、医薬材料費7千円) 役務費 40千円(通信運搬費23千円、手数料6千円、保険料11千円) 使用料及び賃借料 166千円(下水道使用料13千円、複合機・印刷機リース153千円) 備品購入費 30千円 負担金 40千円(県児童館連絡協議会10千円、全国児童館連絡協議会30千円)	813	単町	
合計		1,559		
事業の内容 (どうやって)				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	302	事業名	人権尊重の社会づくりの推進			事業区分	□新規 ■継続
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係		
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	8 人権教育費	
まちづくり ビジョン	重点事業						

2 当該年度の事業費

年度	事業費 (千円)	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
要求額	506	0	0	0	0	506		
一次査定額	507			0		507		
二次査定額	507	0	0	0	0	507		
三次査定額	507	0	0	0	0	507		
四次査定額	507	0	0	0	0	507		
五次査定額	507	0	0	0	0	507		
一般職人件費	1,401	前年度		一般職年間人件費		7,005	一般職	0.2
会計年度職員人件費		前年度					会計年度職員	
トータルコスト	1,908							
前年度予算額	0	比較		507	前々年度決算額		0	比較

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	「人権尊重の社会づくり条例」に基づき、一人ひとりの人権が尊重される住みよい町の実現に資する。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	人権施策基本方針の実施計画の取りまとめを行い、取り組み状況の確認・点検を行う。			
細事業	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
人権尊重の 社会づくり 審議会	人権施策基本方針に基づく分野別の取り組み状況や今後の施策について審議する。 委員17人（学識経験者、各種団体代表、行政職員） ・報酬 68千円 委員報酬 2千円×17人×2回 ・報償金 21千円 助言・指導 7千円×3回	89	単町	
人権侵害等 の事象対応	差別事象検討委員会の開催 差別事象が発生した場合、事象の要因、社会的背景を分析するとともに、再発防止や今後の啓発方法のあり方について協議・検討する。 また、困難な問題については、顧問弁護士に相談し、解決につなげる。 ・報償費 143千円（内訳：委員報酬 43千円×3回＝129千円、弁護士報酬 7千円×2回＝14千円）	143	単町	
人権啓発ワ ッペン作成	人権意識の高揚のため職員及び小中学生の人権啓発ワッペンを作成する。（部落解放月間・人権週間に着用） ・消耗品費 197千円 職員・小中学生用（700枚）	197	単町	小中学生の人権啓発ワッペンを新しいものに交換する。
自治体と連 携する組織 への負担金	・負担金 64千円（東伯郡同和対策推進協議会 38千円、部落解放人権政策確立要求鳥取県実行委員会 26千円）	64	単町	
消耗品	・消耗品費 14千円	14	単町	
合計		507		
事業の内容 (どうやって)				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	296	事業名	人権・同和教育推進事業（事務費）			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	8 人権教育費		
まちづくり ビジョン	(6) 町民の声が届き、ともに創る未来のまちづくり				② 町民参画・協働の仕組みづくり			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

年度	事業費 (千円)	事業費財源内訳					備考	
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳	町債の内訳
要求額	2,480	0	30	0	0	2,450		
一次査定額	2,480	0	30	0	0	2,450		
二次査定額	2,480	0	30	0	0	2,450		
三次査定額	2,480	0	30	0	0	2,450		
四次査定額	2,480	0	30	0	0	2,450		
五次査定額	2,480	0	30	0	0	2,450		
一般職人件費	3,502	前年度		一般職年間人件費		7,005	一般職	0.5
会計年度職員人件費		前年度					会計年度職員	
トータルコスト	5,982							
前年度予算額	0	比較	2,480	前々年度決算額		0	比較	2,480

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	町民一人ひとりの人権に対する正しい理解と認識を深め、人権尊重のまちづくりを推進するため、町等が実施する各種講演会・研修会の企画や学校・社会教育団体、企業等の学習支援等を行い、学習内容や機会の充実を図る。			
前年度からの 改善点等				
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	人権教育及び啓発の機会を確保するとともに、様々な人権について住民が学べる場を提供する。			
細事業	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
琴浦町人権・同和教育推進協議会運営費	町人権・同和教育推進協議会 委託費 1,176千円 各地区人権・同和教育推進研究協議会委託費 12千円×1地区 = 12千円	1,188	単町	
人権・同和教育部落懇談会の推進	・時間外手当 320千円 (職員派遣) ・報償金 32千円 (推進員派遣)	352	単町	
人権教育啓発教材	人権教育・啓発のための教材を湯梨浜町、北栄町、三朝町と 合同で制作する。 委託料 31千円	31	県10/10	
対象別人権・同和教育研修支援事業	社会教育団体、企業等が自ら企画する人権教育研修にかかる 講師謝金を助成。 報償金：上限18千円×5団体 90千円	90	単町	
人権教育推進員及び教職員の研修	人権教育推進員及び教職員の資質向上のため、全国研修へ派遣する。 人権教育推進員 (2大会派遣) ・費用弁償 107千円 ・消耗品費 12千円 教職員 (1大会、2名派遣) 費用弁償 66千円 ・消耗品費 10千円	195	単町	
その他事務費	消耗品の購入や公用車関係経費等 624千円 ・消耗品費 88千円、・燃料費 52千円、・自動車保険料 19千円、 ・公用車借上料 245千円、・県人権文化センター負担金 220千円	624	単町	
合計		2,480		
事業の内容 (どうやって)				

令和7年度 事業説明書

1 基本情報

一般会計

事業番号	575	事業名	人権教育推進事業(法務省委託)			事業区分	□新規 ■継続	
担当課	人権・同和教育課			担当係	人権教育推進係			
予算区分	款	9 教育費	項	4 社会教育費	目	8 人権教育費		
まちづくりビジョン	(3) 誰もが生きがいをもって輝けるまちづくり				① 誰一人取り残さない地域内での福祉の充実			
	重点事業	ふるさとへの愛着を深める、地域に根ざした体験と学びの展開						

2 当該年度の事業費

年度	事業費 (千円)	事業費財源内訳					備考		
		国庫 支出金	県支出金	その他 (収入)	町債	一般財源	その他収入の内訳		町債の内訳
要求額	261	0	215	0	0	46			
一次査定額	261	0	215	0	0	46			
二次査定額	261	0	215	0	0	46			
三次査定額	261	0	215	0	0	46			
四次査定額	261	0	215	0	0	46			
五次査定額	261	0	215	0	0	46			
一般職人件費	2,101	前年度		一般職年間人件費		7,005	一般職	0.3	
会計年度職員人件費		前年度					会計年度職員		
トータルコスト	2,362								
前年度予算額	0	比較	261		前々年度決算額		0	比較	261

3 事業の概要

事業の目的 (なんのために)	人権に対する住民一人ひとりの正しい理解と認識を深め、「人権尊重のまち」を築くため、啓発活動を推進する。			
前年度からの 改善点等	事業の名称を「ことうら人権まなびの集い」に変更する。半日開催（講演会のみ）を1日開催にし、内容が充実するよう工夫した。			
前年度評価で 整理した 取り組みの内容	事業の開催方法や規模、名称について検討を行う。			
細事業	内容	予算額 (千円)	財源内訳	前年度との変更点
人権啓発活動 地方委託 事業（法務 省委託）	ことうら人権まなびの集い ・報償金 225千円 人権講演会講師謝金 216千円 託児謝金 9千円 ・消耗品費 36千円 資料用紙代 10千円 事例発表者謝礼(ことうら商品券) 6千円 啓発物品 20千円	261	県10/10 町46千円 (補助対象 外)	
合計		261		
事業の内容 (どうやって)				